

# 勝山市の調査

## I 多面的に調べよう

### 1 用水・ため池と わたしたちの 暮らし

#### 【用水】

農業用水は様々な役割をになっています。米や野菜を育てるためだけでなく、魚などの生き物の住みかにもなっています。防火や消雪などとしても活用され、又町並み景観の形成にも大きな役割を果たしています。

### 勝山大用水

#### <歴史>

江戸時代の用水について記した史料によると、大用水は17世紀初めころにはほぼ出来ていたようです。旧勝山町や猪野瀬村には女神川のほかに小さな川ばかりで、農業用水に恵まれていませんでした。そのため九頭竜川沿いの大渡村（平泉寺町）から取水し、完成したのが大用水、後の勝山大用水です。大用水は立合用水とも呼ばれたように勝山町と6か村が共同利用し管理した用水です。

享保6年（1721）の大洪水の後、用水を維持するための材料や修復費用・人夫の割り当てなどを、先の村々の間で取り決めた契約書が作られました。領地の違いもあって度々の洪水のたびに、修復費用をめぐる村々で対立がありました。しかし近代に入ると新しい取決めが交わされました。昭和32年（1957）には勝山市の北東側にも新たな水路が引かれ、従来の旧用水に対し新用水と称されています。

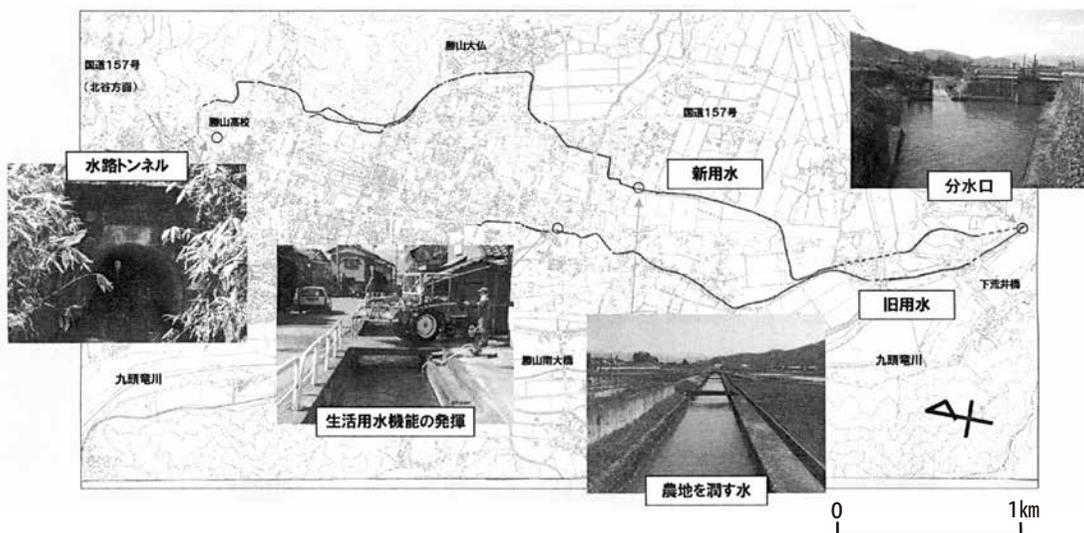
#### <役割>

大用水はかんがいとしてだけでなく、生活用水としてあるいは勝山城の堀の水としても利用されていました。用水は勝山城下にも取り込まれていて、七里壁の崖上の武士の居住区にも流れていました。また、崖下の町民が住む郡町・袋田町・後町の三町にも用水が巡り、崖下から湧き出た清水も集めて用水網がはり巡っていました。火災の

多い城下町では防火のために、雪の時期には雪を流すために利用されていました。諸番と言っておりいろいろな役目を果たすなかに用水（水道）番も設けられていて、管理の行き届いた用水は、町の人々の生活に潤いを与えてきたと言えます。

#### <管理状況>

享保の頃は、関係の村々が共同で用水を維持していました。年間約1,000人が携わったといわれています。現在は、営農と地域環境のための重要な用水として、勝山市が維持管理を行っています。



### ○やってみよう

- ・上の地図を見て用水のおおよその長さを測ってみよう
- ・近くに行って写真を撮ってみよう
- ・近くの人にインタビューをして、いろいろなことを聞いてみよう
- ・文献から用水の歴史をまとめてみよう

### 【ため池】

ため池は主に農業（かんがい）用水を確保するために水を貯え、取水設備を備えた人工の池のことです。その目的のために新設したり、天然の池沼を改築したりしてできた池を指します。

あかおおつつみ

**赤尾大堤**（全国ため池100選になっています）

#### <所在地>

勝山市平泉寺町赤尾

#### <特徴>

旧平泉寺村の中南部に位置する赤尾大堤は、貯水量2.8万 $\text{m}^3$ のため池です。起源ははっきりしませんが19世紀の初め頃に築造されたと伝えられています。現在でも水源に乏しいこの地域の貴重なみずがめとして水田を潤しています。大堤は、里山に囲まれた水田とともに生物にとって良好な水辺環境を形成しており、水生昆虫が多く生息しています。この地域一帯のため池群には、貴重種も数多く確認されており、福井県が出版する「守り伝えたい福井の里地里山」の中でも、保全すべき地域の一つに位置づけられています。



○やってみよう

- ・地図の中からため池をチェックして水色でぬってみよう
- ・赤尾大堤の周囲の長さを地図からもとめてみよう
- ・近くに住む方々に電話連絡をして聞き取り調査をしてみよう
- ・文献から歴史をまとめてみよう

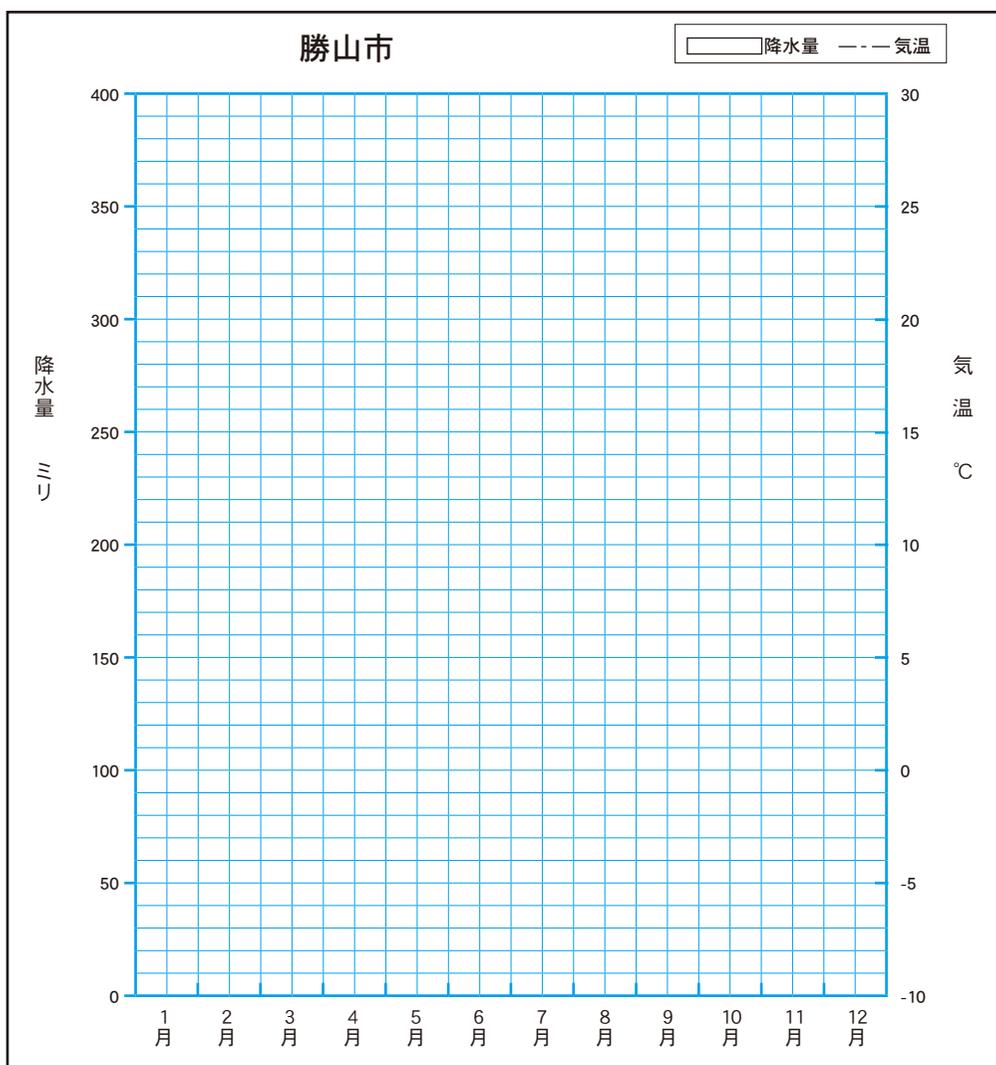
## 2 勝山の気候とくらし

### 勝山の気候とグラフ

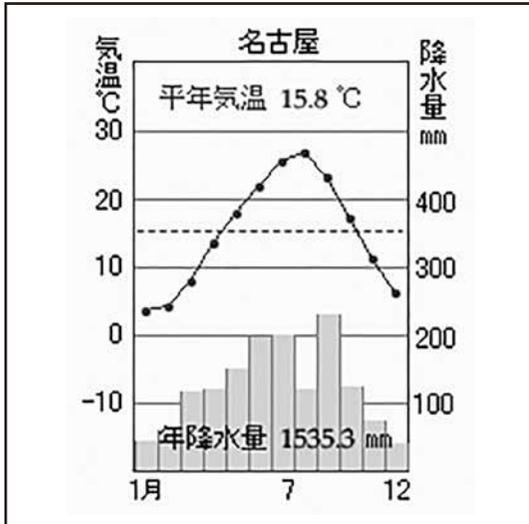
勝山市は日本海側に位置し、冬は北西の季節風によって多く雪が降ります。勝山市の気温と降水量をグラフに記入し、同じ中部地方の愛知県名古屋市、福井県福井市のグラフと比べてみましょう。

勝山市の年間平均気温と降水量（1996～2015年の平均）「気象庁データより」

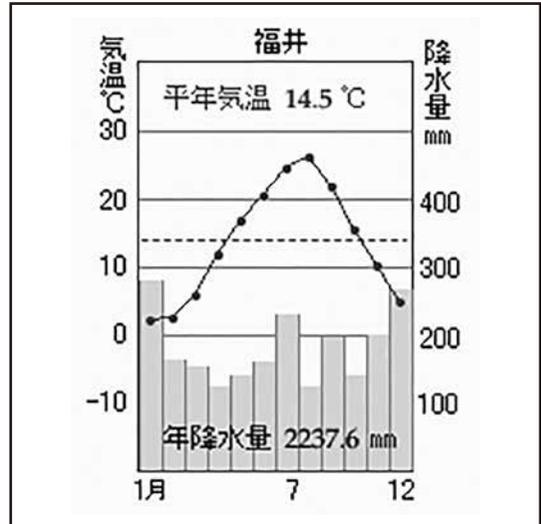
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
平均気温 (°C)	0.9	1.5	5.1	11.3	16.9	21.0	24.6	25.7	21.8	17.4	10.7	4.1	年平均気温 (°C)	13.2
降水量 (mm)	240.7	146.9	176.4	157.1	178.6	202.3	313.6	228.6	205.0	164.4	200.1	282.6	年降水量 (mm)	2246.9



【愛知県名古屋市の雨温図（太平洋側）】



【福井市の雨温図】



観光客で賑わうスキージャム勝山



鯖の熟れ鮓し（北谷地区）

## 雪とともにくらす

勝山市の気候は、一年を通じて雨量が多く、特に冬の降水量（降雪量）が多いことが特徴です。雪とともにくらすための知恵が根付いており、雪を生かした観光、作物作りが行われています。スキージャム勝山のゲレンデは、シーズンになると多くのスキーヤーやスノーボーダーが訪れ観光地として賑わいを見せます。さらに、白山山系からの雪解け水を利用して勝山水菜の栽培、清酒造り等が行われ、町の特産品にもなっています。

また、生活の知恵として作られてきた伝統料理もあります。北谷地区では、雪に埋もれてしまう時期に備えて、年の瀬に鯖の熟れ鮓しなべしを作ってきました。保存食として、貴重なたんぱく源おほを取るために工夫された知恵といえるでしょう。

一方で、降り積もる雪によって家屋の屋根に負担がかかったり、道路が雪に覆われることによって、交通事故の件数が多くなったりしています。そこで、雪道でのスリップや転倒事故が起らないように、道路の融雪や、早朝の除雪作業が行われています。私たちの通学路の除雪も行われ、安心して通学



除雪作業の様子

することができます。

住居が雪の重みで倒壊しないよう、勝山市では屋根融雪設備を設置するための補助金の交付を行い、雪の多い時期に備えています。

#### ○やってみよう

- ・勝山市の気候を、福井市や名古屋市と比べて特徴をまとめよう
- ・雪とともに生活するための知恵を、お年寄りの方にインタビューしてみよう
- ・38豪雪、56豪雪の頃の様子を調べてみよう
- ・他にも雪を利用した特産物や観光地を探してみよう

### 3

## 勝山の伝統行事と 観光



七里壁（本町）



左義長の櫓



絵行灯

## 城下町勝山

### 【勝山城跡】

元禄4年（1691）に小笠原氏が勝山に入部し、宝永6年（1709）に旧城を再建する名目で築城の許可が出されました。その後、断続的に工事が進められましたが、文政8年（1825）に火災にあい完成を見ることなく、明治に入り廃城となりました。現在の市民会館付近が本丸跡といわれています。

### 【七里壁】 市指定文化財

中心市街地は九頭竜川右岸の、いく段かから成る河岸段丘上に立地しています。江戸時代には岸ノ下・岸ノ上と言われた段丘崖（いわゆる七里壁）を境に、居住区の住み分けがなされていました。段丘崖上には武家が、その下には町人が居住し、いく本もの坂道で結ばれていました。七里壁には時代とともに石垣が築かれるようになり、その主要部分は市の指定文化財になっています。

## 勝山左義長 県指定文化財

### 【勝山左義長の歴史と特色】

勝山左義長の起源はあきらかではありませんが、小笠原氏が入部する以前から、勝山三町の祭礼行事として行われてきました。商売繁盛や五穀豊穰などを願い、後には度々起こる城下の火災を鎮める、鎮火祭としての色合いが濃くなりました。

左義長は全国的に見られ「ドンド焼」がよく知られています。勝山左義長の特色としては「作り物」「絵行灯」「短冊」「櫓」「太鼓」などがあります。失われたものもありますが、近代に入り取り入れられたのが、三味線・笛・太鼓・鉦しやうの軽快なリズムと「お囃し」にあわせて、赤い長襦袢じゆばんで女装した男



作り物



ドンド焼き



旧木下家住宅



家普請一切附立帳



滝波のお面さん

性が櫓の上で打つ太鼓です。全国的に見ても非常に特色のある伝統行事と言えます。

左義長の最後をかざるのは、雪が残る九頭竜川河畔で行われる「ドンド焼き」です。各家から松飾りや注連縄しめなわが持ちこまれ、松と竹で作られた各区のご神体に一齐に点火されます。かつては村部でも行われ、子供が「ドンド焼き」の主役でした。その際、「はやせはやせ…」などと囃子言葉ではやされました。この火で焼いた餅を食べると無病息災になると言われています。最近「奥越に春を呼ぶ」祭礼として紹介され、全国に知られるようになりました。

### 旧木下家住宅と普請帳 国重要文化財

この住宅は、勝山市の北西部にあたる北郷町伊知地（上野）区にあります。江戸時代後期の庄屋の建物で、入母屋造りの茅葺きです。建てられてから大きな増改築がなく、建てられた当初の場所に今も建っています。しかも高度の建築技術をもった永平寺大工が関わっていたことを示す史料（普請帳）も残されています。建物は今から300年程前の天保2年（1831）頃から工事が始まり、同10年頃に完成したと考えられます。こうした点が評価され国の重要文化財に指定されました。

### 勝山市の主な年中行事

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 1月最終日曜日 | 年の市（本町通）              |
| 2月11日   | 滝波のお面さん祭り<br>（村岡町滝波区） |
| 16日     | 谷のお面さん祭り（北谷町谷区）       |
| 2月20日   | 観音さまのおすすめ<br>（遅羽町北山区） |



走りやんこ

- 2月最終土・日曜日 勝山左義長（本町を中心に）  
 4月13日 走りやんこ  
 （本町を出発しゴールは長山公園）  
 7月27・28日 大清水祭り（下後区）  
 8月13日 大師山たいまつ登山  
 （猪野瀬地区）  
 8月15日 谷のはやし込み（北谷町谷区）  
 8月16日 かち山ちょうちん登山  
 （村岡地区）  
 8月23・24日 顕如講（さん）（後町 尊光寺）  
 9月17～19日 神明祭り  
 （本町通 勝山神明神社）  
 10月25日 畑時能公例祭（北郷町伊知地区）

## 勝山市の自然をいかした風景

### おおしよず 【大清水（本町）】

かつての市街地にはたくさんの清水が湧き出し、生活用水として利用され人々が集う場でもありました。現在はほとんど姿を消し、大清水のみ今もその名残を伝えています。明治28年（1895）に、「十人組」と呼ばれた後町の有力者が世話人となり、不動明王が祀<sup>まつ</sup>られました。近年、「まちなか整備事業」によって、「大清水」とその周辺が市民の憩いの場として生まれ変わりました。

### 【取立山付近のミズバショウ群生地】

霊峰白山が眼前にひらける、加越国境付近には、1300m～1600m級の山岳があり、中でも取立山頂付近の取立平には美しいミズバショウが群生し、多くの登山客が訪れる人気コースとなっています。



大清水



群生するミズバショウ



福井県立恐竜博物館  
(村岡町)

## 恐竜博物館について

恐竜博物館も、勝山市の観光地の1つです。勝山市は恐竜の化石発掘で、日本有数の場所です。主に北谷町で恐竜の化石発掘が行われており、フクイラプトル、フクイサウルスをはじめとする恐竜の化石が発掘されています。発掘地と化石は、国の天然記念物に指定されています。

### 【恐竜博物館の紹介】

恐竜博物館は約4,500㎡という広大な展示室に、40体の恐竜全身骨格をはじめ1,500点以上の標本、ジオラマなどが展示されており、自然系博物館としては全国トップクラスの年間90万人以上の来館者があります。この博物館がある「かつやま恐竜の森」内に「どきどき恐竜発掘ランド」があり、年間2万人以上の子どもたちが化石発掘体験に参加しています。

また、勝山市北谷町にある恐竜化石発掘地では、約1億2千万年前の白亜紀前期はくあきの地層が実際に見られます。この恐竜化石発掘地を基点とする遊歩道も整備されています。

### ○やってみよう

- ・身近なところにある歴史的な遺跡を探してみよう
- ・勝山左義長のおこりを文献で調べたり、実際に体験したりしてみよう
- ・自然をいかした風景や観光地が他にないか調べてみよう

## 4 勝山の特産物



さといも



華ロケット



若猪野メロン

## 農業

勝山の農業は、山間畑作が早くから発達し、中世以後稲作をはじめ様々な作物の生産が行われていたと考えられます。江戸時代には葉たばこ産地も形成されました。現在、農産物では、良質米（コシヒカリ）やさといも、そば、メロン、勝山水菜などの特産品の生産が盛んです。今後の方針として農地の集団化や流動化、農作業の共同化を図り、効率的な農業経営をめざしています。

### 【大仏さといも】

さといもは近代に入り、明治時代からふるさとの特産品として生産されるようになりました。勝山市は、四方が山々に囲まれた典型的な盆地で、この昼夜の気温較差が品質のよいさといも作りの要因となっています。食味は独特で、肉質のしまりもよく、煮くずれしません。皮は柔らかく、甘みがあって味がよく、高い評価を受けています。

### 【ミディトマト】

勝山だけで栽培されるミディトマト「華ロケット」や、県の特産品にもなっている「越のルビー」は、ピンポン玉より少し大きく、輝くような鮮やかな紅色が特徴です。皮が柔らかいのでヘタが取りやすく、酸味が控えめのあっさり味のため、フルーツ感覚で食することができます。日中気温が高く、夜は冷え込む勝山盆地の気候は、果実の糖度を上げる条件に適しており、高い評価を集めています。

### 【若猪野メロン】

マスクメロンは、昼夜の気温較差が大きいことと、恵まれた土質など気候風土を最大限に利用して作られます。糖度も15度以上と安定し、市場からも高い

評価を受けています。食べごろは、メロンの下部がやや柔らかく感じられ、メロン特有の香りが漂うころです。

贈答・進物品としてもたいへん好評です。

### 【勝山水菜】

勝山水菜は晩秋に種を蒔き、越冬させて早春に収穫するので、ほとんど無農薬で栽培されています。早春の生鮮野菜として珍重され、みずみずしくて柔らかく、新鮮でほのかに甘い味があります。おひたし、お茶漬け、菜めしなどに料理され、おいしく食べられています。

また、近年、県衛生研究所の調査によって次のようなことが分かりました。勝山水菜には、がんなど生活習慣病の予防に効果があり、今注目を集めている抗酸化物質が、非常に良好な状態で含まれている。現在、健康食品としても注目を集めています。



勝山水菜の収穫

### 【越前かつやまそば】

勝山盆地で育まれたかつやまそばは、四季を通じて市内のそば屋や食堂などで味わうことができます。色が黒くコシのしっかりしたこのそばを噛みしめると、そば本来の味がにじみ出てきます。



そばの風景



林業



繊維産業



製造業

## 林業

勝山は、緑豊かな自然環境の中にあり、豊富な人工林に恵まれています。地域の山林資源の活用と健全な山林育成のサイクルを促すため、国産材加工施設を設立しました。また、製材工場の新設、効率的な生産体制の確立による地域材の利用拡大、林業の活性化による豊かな山村づくりを進めています。

## 勝山を支える産業

### 【繊維産業】

明治期に興った製糸業と機業は、勝山の中心産業でした。昭和初期に全盛だった人絹織物じんけんに続いて、昭和40年（1965）代からは合成繊維織物の生産が盛んになり、産業の屋台骨やたいぼねとして隆盛を誇っていました。市内には今も古い繊維工場群のほか、産業の歴史を知る上で貴重な資料が残っています。

近年では、高機能繊維や非衣料分野の繊維製品をつくるなど、繊維産地勝山を強力にアピールし、イメージアップに努めています。

### 【製造業】

近年勝山市に進出した会社ではプレス加工品やマグネット部品、スポット溶接、金属表面処理など、おもに自動車に使われる部品をつくっています。

また、市内に拠点を置く製薬会社では、より有効で安全性の高い新薬、自社オリジナルの新薬の探索・研究を推進しています。また、ユーザーに高度できめ細やかな情報を提供し、情報の質・量を高め、全国の情報活動ネットワークの整備を推進しています。

### 【その他】

近年、海外製品の輸入や若者の流出など様々な問



勝山市市民交流センター

題がおこっています。そこで、勝山に元気な産業を再び取り戻そうと、特産品の開発やブランド化、ベンチャービジネスや企業誘致の推進など、様々な施策が展開されています。

勝山市市民交流センター（旧奥越地域地場産業振興センター）は、市民活動センター、地域子育て支援センター、インキュベート施設等で構成されています。

これらの施設はボランティアや社会貢献活動、地域の子育て支援の拠点としての機能をもっています。また市内で創業しようとする人や、創業間もない起業家への活動拠点としての支援・育成も行っています。そして、ふるさとルネッサンス事業による幅広い交流を進める中でビジネスチャンスの拡大を図るなど、産業の振興に努めています。

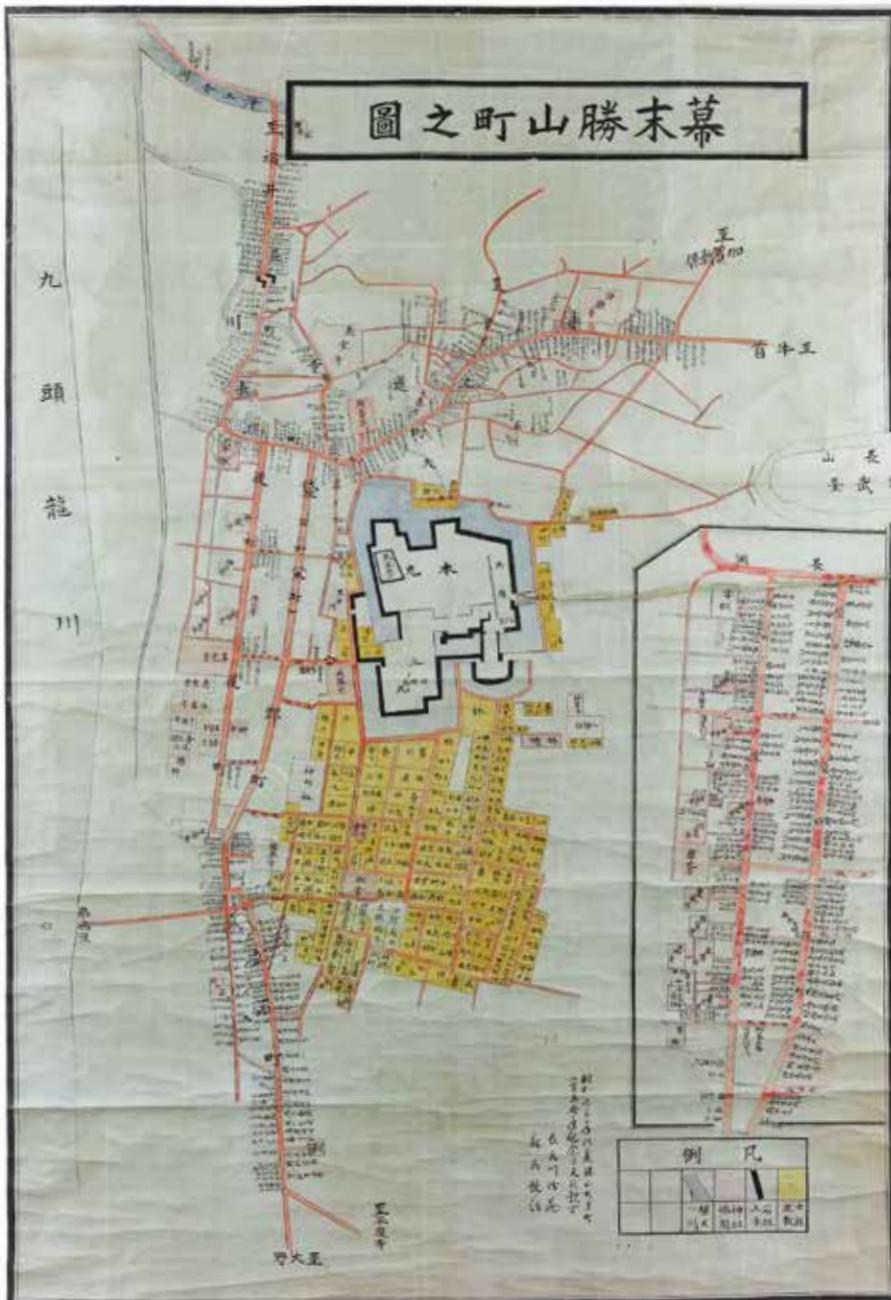
#### ○やってみよう

- ・ 農業の特産物の一つ取り上げて、栽培の仕方や苦労・工夫を調べてみよう
- ・ 勝山市内のどこで農業の特産物が作られているかを調べてみよう
- ・ 繊維産業の発達の歴史を調べてみよう
- ・ 家族や近所の方々に勝山の産業についてインタビューしてみよう

## いろいろな時代の地図

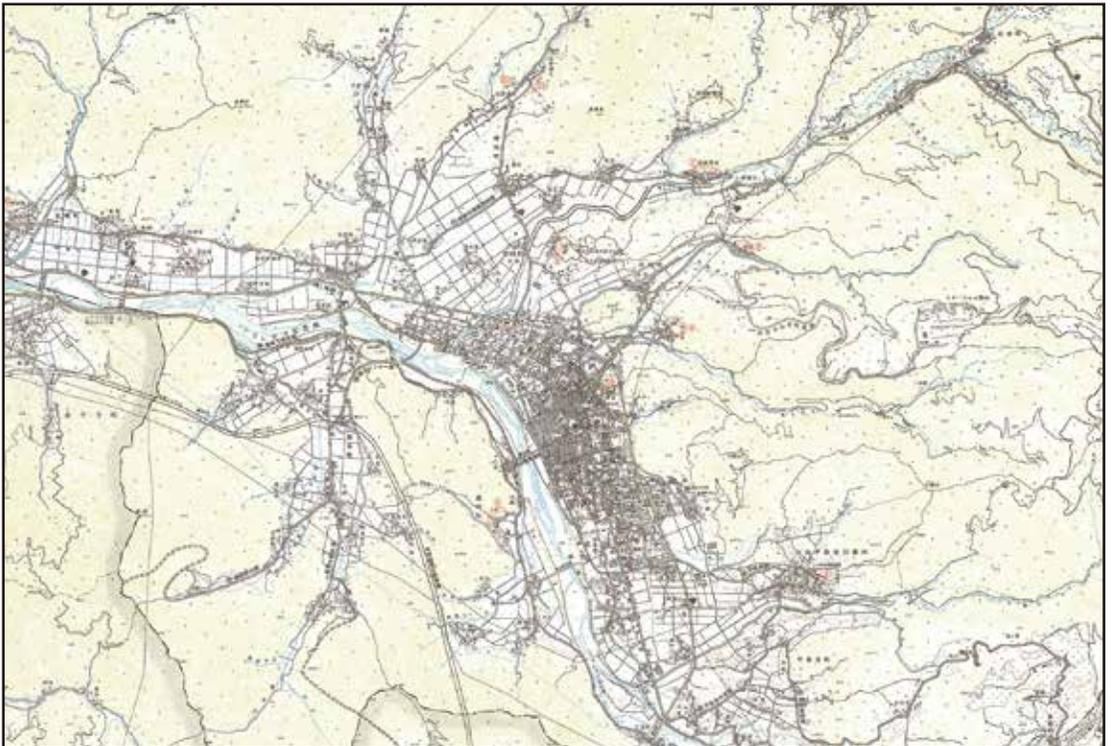
勝山は歴史とともに変化してきました。いろいろな時代の地図を見て気がついたことを発表してみよう。(町の発展の様子、道路、建物の変化など)

## 勝山市の町のひろがり



幕末勝山町之図

昭和33年(1958)の勝山 (1:10,000)



現在の勝山市域

## II 調べるときに参考にしてみよう

### 1 全国から見た福井県のことを調べるなら

○地図帳      ○データで見る県勢（矢野恒太郎記念会）      ○日本国勢図会（国勢社）

### 2 福井県のことを知りたいと思ったら

○県勢要覧（福井県）      ○福井統計年鑑（福井県）  
\* 基本統計…各市役所・各町役場の企画課や庶務課など  
\* 都市計画について…各市役所・各町役場の都市計画課など  
\* 地域新聞や情報誌…『福井県史』 各市町村史 広報勝山

### 3 役に立つインターネットホームページ

○福井県のホームページ      <http://www.pref.fukui.jp/>  
○福井県統計情報システム      <http://toukei.pref.fukui.jp/>  
\* 統計関係リンク  
官庁→総務省→なるほどデータforきつず→おやくだちデータ倉庫→  
きみの住んでいる県はどんな県（<http://www.stat.go.jp/kids/datastore/pref/index.htm>）  
○福井新聞社      <http://www.fukuishimbun.co.jp/>  
○日刊県民福井      <http://www.kenmin-fukui.co.jp/>  
○福井テレビ      <http://www.fukui-tv.co.jp/>  
○福井放送      <http://www.fbc.ne.jp/>  
○NHK福井      <http://www.nhk.or.jp/fukui/>

### 4 博物館などで資料を得るなら

<b>福井県立歴史博物館</b> 福井市大宮 2-19-15 0776-22-4675	福井県の民俗、歴史、考古、産業の歴史を展示。
<b>福井県立美術館</b> 福井市文京 3-16-1 0776-25-0452	福井ゆかりの作家の作品を中心に企画やテーマ展示などを開催。県民が美術に親しむことができる普及事業などを実施。
<b>福井県立こども歴史文化館</b> 福井市城東 1丁目 18-21 0776-21-1500	福井県の先人や、ゆかりの人物について展示、解説
<b>福井県立恐竜博物館</b> 勝山市村岡町寺尾 51-11 0779-88-0001	恐竜を中心とする古生物および地質時代の地球の歴史に関する資料の収集や保管、展示などを行う。
<b>福井県教育庁 埋蔵文化財調査センター</b> 福井市大畑町 97-21-3 0776-53-7977	県内の埋蔵文化財の調査・研究を行い、発掘調査から当時の生活や文化について現地説明会や出前授業を行う。
<b>福井市自然史博物館</b> 福井市足羽上町 147 0776-35-2844	福井の自然に関する資料が集結している。

<b>福井県立一乗谷 朝倉氏遺跡博物館</b> 福井市安波賀町 4-10 0776-41-2301	陶磁器をはじめとする発掘調査での出土品や、戦国時代の生活道具などを展示。
<b>福井市立郷土歴史博物館</b> 福井市宝永 3-12-1 0776-21-0489	橋本左内の直筆書簡など豊富な資料を展示し、古代から近世にいたる福井市の歴史を紹介している。
<b>福井市美術館</b> 福井市下馬 3 丁目 1111 0776-33-2990	福井市内の作家作品を中心に収集、展示を行う。
<b>一乗谷朝倉氏遺跡復原町並</b> 福井市城戸ノ内町 0776-41-2330	朝倉氏遺跡で発見された礎石や出土品に、歴史的考察を加えて、当時の町並みを原寸大で再現した施設。
<b>おさごえ民家園</b> 福井市月見 5-4-48 0776-34-3794	県内の文化的価値の高い6つの古民家を、移築・復元し展示している。
<b>福井市愛宕坂茶道美術館</b> 福井市足羽 1-8-5 0776-33-3933	朝倉氏遺跡から発掘された茶壺や茶碗、福井松平家に伝わる茶道に関する資料などを公開。3階の映像ロビーでは、茶道の歴史を分かりやすく紹介している。
<b>藤野巖九郎記念館</b> あわら市温泉 1 丁目 203 0776-77-1030	魯迅と師弟関係にあった藤野の旧家を移築して公開している。併設の資料館には、白衣や聴診器などの医療器具の遺品、魯迅直筆の書簡などを展示している。
<b>吉崎蓮如上人記念館</b> あわら市吉崎 1 丁目 0776-75-2200	吉崎の七不思議(「嫁着しの面」、「吉崎こなご」など)をはじめ、蓮如上人と吉崎に関わるものを展示、解説している。
<b>金津創作の森美術館</b> あわら市宮谷 57-2-19 0776-73-7800	現代美術を中心に活動の支援・育成をおこなっているアート体験型美術館で、伝統工芸や地域にゆかりある作家の資料収集なども行う。
<b>千古の家</b> 坂井市丸岡町上竹田 30-11 0776-67-2111	軒の低い茅葺き屋根の民家(国の重要文化財)。室町～江戸初期に建築されたと推定され、源頼政の子孫の坪川家の住居だった。
<b>坂井市龍翔博物館</b> 坂井市三国町緑ヶ丘 4-2-1 0776-82-5666	三国町にゆかりのある文学や絵画の展示、町の自然やくらしぶりを紹介する。また、復元された北前船も展示している。
<b>はたや記念館</b> <b>ゆめおーれ勝山</b> 勝山市昭和町 1 丁目 7-40 0779-87-1200	1905年から1998年まで機業場だった建物を保存・活用した施設。建物は勝山市有形文化財、国の近代化産業遺産に認定されている。動態展示や体験コーナーがあり、大人から子どもまで楽しめる織物ミュージアム。
<b>白山平泉寺歴史探遊館</b> <b>まほろば</b> 勝山市平泉寺町 66-2-12 0779-87-6001	史跡白山平泉寺旧境内や白山の歴史・自然・文化に関することを展示紹介する。また、文化財を活かした学習・交流・地域づくりの拠点施設ともなり、体験イベントなどを開催している。

<p><b>北郷の庄屋屋敷</b>  <b>重要文化財旧木下家住宅</b>  勝山市北郷町伊知地第5号3番地  0779-89-1020</p>	<p>木下家は江戸時代後期に庄屋を務めた上層農家で、この時期に建てられた当初の様子が見られる建物である。勝山市を代表する歴史的建造物で、県内では7棟しかない国の重要文化財に指定された茅葺き民家。</p>
<p><b>縄文遺跡等資料室</b>  勝山市遅羽大袋第48号42番地  0776-73-7800</p>	<p>「縄文遺跡等資料室」は遅羽まちづくり会館の2階にあり、勝山市内の遺跡から出土した旧石器時代から江戸時代の遺物や遅羽町の農村生活の歴史・民俗を展示。特に、近くにある三室遺跡（県指定史跡）の展示を中心に紹介。</p>
<p><b>勝山城博物館</b>  勝山市平泉寺町平泉寺 85-26-1  0779-88-6200</p>	<p>今井俊満の屏風絵、戦国武将の鎧・兜、刀剣類を展示。6階部分は、展望台となっている。</p>
<p><b>大野市民俗資料館</b>  大野市城町 2-13  0779-66-0238</p>	<p>明治22年に建てられた大野治安裁判所を利用。大野市の文化財に指定されている。明治末期から昭和40年代に実際に使用されていた生活用品を展示。</p>
<p><b>大野市歴史博物館</b>  大野市天神町 2-4  0779-65-5520</p>	<p>大野市の縄文から近代までの歴史資料を収集・保存・展示している。特に、土井家7代藩主・利忠以降の藩政資料が多く、藩船「大野丸」の1/10模型と関係資料も展示。</p>
<p><b>武家屋敷旧内山家</b>  大野市城町 10-7  0779-65-6122</p>	<p>幕末に、大野藩の財政立て直しや蘭学振興に尽力した家老の内山七郎右衛門良休と弟の隆佐良隆の屋敷を復元したもの。羽織やタンスなどを展示している。</p>
<p><b>武家屋敷旧田村家</b>  大野市城町 7-12  0779-65-6212</p>	<p>田村又左衛門家屋敷は、近世の武家住宅であり、大野藩上級武家屋敷の様子が見られることから大野市の指定文化財となっている。また、住宅東側に広がる庭園の築山は、越前大野城外堀の土居を転用したもの。</p>
<p><b>和泉郷土資料館</b>  大野市朝日 25-7  0779-78-2845</p>	<p>大野市和泉地区で発見された古生代や中生代の化石などを展示し、“化石の宝庫、和泉”の魅力や最新の研究成果について紹介。</p>
<p><b>笛資料館</b>  大野市朝日 24-9  0779-78-2041</p>	<p>平安末期、戦いに敗れた源義平は、朝日の里に落ち延び、里の娘「おみつ」とくらししていたが京へ上ることを決意した義平は、おみつに一本の横笛を遺したという。当館には、その笛のレプリカをはじめ、数多くの笛を紹介。</p>
<p><b>鯖江市まなべの館</b>  鯖江市長泉寺町 1-9-20  0778-53-2257</p>	<p>市内の古墳からの出土品や、鯖江藩に関する資料を展示している。</p>
<p><b>うるしの里会館</b>  (鯖江市越前漆器伝統産業会館)  鯖江市西袋町 40-1-2  0778-65-2727</p>	<p>木地から加飾まで漆器の製造工程や歴史的資料等が見学できる。業務用漆器の製造や食器洗浄機対応の漆器など、越前漆器のとりくみについて紹介。</p>
<p><b>めがねミュージアム</b>  鯖江市新横江 2-3-4  めがね会館  0778-42-8311</p>	<p>日本のめがね作りの拠点、産地ならではの博物館として、100余年前の生産現場風景の展示コーナーや江戸時代～昭和期にかけてのめがねの形の変遷などを展示・紹介。</p>

<p><b>伊藤柏翠俳句記念館</b>        鯖江市東鯖江 3-5-3        0778-52-8198</p>	<p>日本の伝統俳句「花鳥巡禮」をした伊藤柏翠について、俳句生活74年の貴重な作品などを保存・展示。</p>
<p><b>武生公会堂記念館</b>        越前市蓬萊町 8-8        0778-21-3900</p>	<p>幕末の頃、府中の藩校「立教館」があった場所に建設された「武生町公会堂」を活用した博物館。特別展や館蔵品展、体験講座や講演会による越前市の歴史文化の紹介や、郷土資料の収集保存活動を行う。</p>
<p><b>越前和紙の里 紙の文化博物館</b>        越前市新在家町 11-12        0778-42-0016</p>	<p>和紙の発祥や歴史について学ぶことができ、越前和紙や作品も多数展示。</p>
<p><b>越前和紙の里 卯立の工芸館</b>        越前市新在家町 9-21-2        0778-43-7800</p>	<p>江戸時代中期の紙漉き家屋を移築復元した「卯立の工芸館」では、昔ながらの道具を使って和紙を漉く様子など、和紙が作られる一連の工程を展示・紹介。</p>
<p><b>「ちひろの生まれた家」 記念館</b>        越前市天王町 4-14        0778-66-7112</p>	<p>いわさきちひろの世界に親しむ記念館で、ちひろの絵本や関連書籍などをはじめ、ちひろの母の文江とちひろの誕生を紹介する。</p>
<p><b>紫ゆかりの館</b>        越前市東千福町 21-12        0778-43-5013</p>	<p>紫式部が越前たけふの地で過ごしたことを展示。また、越前・丹南地域の伝統的工芸品について、展示や物販を通して紹介するほか、学び・体験なども開催。</p>
<p><b>越前打刃物会館</b>        越前市池ノ上 49-1-3        0778-24-1200</p>	<p>製品の販売、昔の道具や資料の展示を行っている。包丁や鎌の製造工程のビデオ上映などを行っている。</p>
<p><b>能面美術館</b>        池田町志津原 17-2        0778-44-7757</p>	<p>能面の170種類のうち、約130種類を展示。隣接する古木庵では、能面の製作現場の見学もできる。</p>
<p><b>福井県陶芸館・ 越前古窯博物館</b>        越前町小曾原 120-61        0778-32-2174</p>	<p>平安時代末期から、現代までの越前焼・約200点を展示している。陶芸教室もある。</p>
<p><b>南条ふるさと資料館「国華」</b>        南越前町脇本 17-38-1        (南条保健福祉センター内)        0778-47-3767</p>	<p>旧 国華小学校に関するパネル等の歴史資料を展示するほか、南越前町内で使われた、昔の民具や農具、遺跡で出土した考古資料を展示。</p>
<p><b>河野歴史文化ふれあい会館</b>        南越前町河野 2-29-1        0778-48-2881</p>	<p>海とともに歩んできた河野地区の歴史を後世に伝えるための資料館。北前船の模型などをはじめ、マンガラ寺遺跡の考古資料を展示。</p>
<p><b>今庄まちなみ情報館</b>        南越前町今庄 74-3-1        0778-45-0074</p>	<p>JR今庄駅構内にあり、今庄地区の成り立ちを紹介するとともに、鉄道ジオラマと、窓から眺められ現在の鉄道とを見比べることができる。</p>

<b>北前船主の館・右近家</b> 南越前町河野 2-15 0778-48-2196	江戸時代中期から明治30年代にかけて、北前船交易で栄えた右近家の邸宅。遠めがねや和磁石など航海に使われた道具や古文書を展示している。
<b>敦賀市立博物館</b> 敦賀市相生町 7-8 0770-25-7033	敦賀市内で発掘された考古遺物のほか、中世・近世・近代の文書資料、民俗資料、そして近世・近代の美術資料まで、敦賀ゆかりの資料を数多く収集・保存
<b>みなとつるが山車会館</b> 敦賀市相生町 7-6 0770-21-5570	つるがの「山車巡行」は、港町敦賀の繁栄を象徴してきた長い歴史をもつ伝統行事で、氣比神宮例大祭で巡行する勇壮華麗な山車を保管して、これらを展示・紹介。
<b>敦賀鉄道資料館</b> 敦賀市港町 1-25 0770-21-0056	敦賀鉄道資料館（旧敦賀港駅舎）では、敦賀の鉄道の歴史を紹介する資料や列車模型などを展示・紹介。
<b>敦賀郷土博物館</b> 敦賀市三島町 1-3-3 八幡神社内 0770-22-1193	石井左近の収集品。敦賀市周辺の高墳の出土品、江戸時代の日本画、北前船の資料、生活道具など、敦賀ゆかりのものなど約3000点を展示している。
<b>福井県立若狭歴史博物館</b> 小浜市遠敷 2-104 0770-56-0525	「みほとけ」「祭りと芸能」「歴史」の3コーナーからなる。仏像や考古資料など、若狭地方の歴史・民俗の文化遺産を公開している。
<b>小浜町並み保存資料館</b> 小浜市鹿島 29 0770-53-3443	風格のある明治20年代の商家をモデル家屋として、資料を展示している。
<b>小浜市鯖街道ミュージアム</b> 小浜市小浜広峰 17-1 0770-64-6034	日本遺産「鯖街道」をはじめとする小浜市の文化財や伝統芸能、祭礼等を紹介。
<b>御食国若狭おばま食文化館</b> 小浜市川崎 3-4-4 0770-53-1000	「囲みかたらう伝統行事と食」、ユネスコ無形文化遺産の「和食」などの再現料理レプリカとともに紹介して、「すし」のルーツ、日本食の美味しさの秘密を紹介する「世界で愛される日本食の代表『すし』」を始め、多くのテーマを扱った展示
<b>山川登美子記念館</b> 小浜市千種 1-10-7 0770-52-3221	山川登美子の生家と遺品が小浜市に寄付されたことから、山川登美子記念館として開館して、愛用された品や歌稿などを展示。
<b>箸のふるさと館</b> 小浜市福谷 8-1-3 0770-52-1733	所要時間15分で、塗り重ねられた漆を研ぎ、貝殻などがちりばめられた模様づくりを体験できる。
<b>鵜の瀬公園資料館</b> 小浜市下根来 8-1-1 0770-53-1111	「お水送り」という文化遺産を通じて、歴史と自然を同時に体験できる施設。（電話:小浜市役所）
<b>若狭三方縄文博物館</b> 若狭町鳥浜 122-12-1 0770-45-2270	鳥浜貝塚から出土した土器や石器や丸木舟などの資料や、郷土の民具や武具などを展示している。縄文文化をいろいろな角度から考え、体感できる施設。
<b>若狭町歴史文化館</b> 若狭町市場 20-17 0770-62-2711	若狭地方の主要な前方後円墳などの埴輪や、石室から出土した金製耳飾などの考古資料を展示。朝鮮半島からもたらされたものも数多くあり、若狭地方の古墳時代を紹介。

<b>佐久間記念交流会館</b> 若狭町北前川 61-2 0770-45-1780	死の直前まで人事を尽くした、第6号潜水艇艦長、佐久間勉の沈着勇断な行動を顕彰する記念館。
<b>若狭鯖街道 熊川宿資料館 宿場館</b> 若狭町熊川 30-4-2 0770-62-0330	安土桃山時代に宿場町となり、鯖街道の中継地点として栄えた熊川の関連資料や民具を展示している。近くの旧逸見勘兵衛宅は無料で見学できる。(土・日・祝日のみ)
<b>おおい町立郷土史料館</b> おおい町成和 2-1-1 0770-77-2820	大飯地域を中心に歴史や文化財、各種郷土資料を展示しわかりやすく紹介。
<b>おおい町暦会館</b> おおい町名田庄納田終 111-7 0770-67-2876	暦に関する資料など約900点を収蔵。江戸時代の木星観測記録、やぐら時計、遠めがねといった天文観測器具などを展示している。
<b>若州一滴文庫</b> おおい町岡田 33-2-1 0770-77-2445	斉藤真一、渡辺淳など水上文学にゆかりの深い作家の絵画作品のギャラリー展示や、水上の経歴や執筆の参考資料、そして貴重本などを展示。
<b>高浜町漁村文化伝承館</b> 高浜町塩土地係 0770-72-1234	若狭の漁民文化が一目で分かる施設。漁師画家・貝井春治郎氏の作品をはじめ、実際に使われていた丸木舟や網、サメを捕ったモリや漁具、定置網の模型などを展示。
<b>高浜町郷土資料館</b> 高浜町南団地 1-14-1 0770-72-5270	祭りと、民俗・美術工芸・考古・中世の三つをテーマにした展示があり、高浜町の歴史・文化を紹介。

## 5 図書館で資料を得るなら

○福井県立図書館	福井市下馬町 51-11	0776-33-8860
○勝山市立図書館	勝山市昭和町 1-7-28	0779-88-6000

## 6 その他

○福井県庁	福井市大手 3-17-1	0776-21-1111
○勝山市役所	勝山市元町 1-1-1	0779-88-1111
○福井地方裁判所	福井市春山 1-1-1	0776-22-5000
大野簡易裁判所	大野市城町 1-5	0779-66-2120
○福井地方法務局	福井市春山 1-1-54	0776-22-5090
○大野税務署	大野市城町 7-28	0779-66-2180
○J A 福井県		
勝山南支店	勝山市旭毛屋町 111	0779-88-0341
勝山中支店	勝山市滝波町 5-701	0779-88-0342
勝山北支店	勝山市荒土町伊波 27-8-1	0779-89-2003

# 多面的に調べよう ～ 福井県 ～

## いろいろなことから調べよう

- 概要 (人口、面積、地域区分など)
- 地形 (気候、山地、川、平野など)
- 歴史 (勝山の原始から近代)
- 土地利用 (市街地、水田、畑地など)
- 農業 (稲作、畑作、畜産、林業など)
- 水産業 (漁の方法、水産物の流通など)
- 伝統産業 (漆器、和紙、めのう、打刃物、越前焼など)
- 近代工業 (めがね、せんい、機械、電力など)
- 地域の変容と結びつき  
(中心産業の変化、他の都道府県とのつながり、環日本海構想、国際交流など)
- 未来構想 (都市機能の整備、自然を生かした地域づくり、交通基盤の整備など)

## 特色を調べ、まとめよう

- 1 全体から見た特色を調べる。  
地域ごと(嶺北、嶺南など)に特色を調べる。
- 2 県内の地域的特色の違いや共通点、結びつきをさまざまな調べ方(地図、写真、統計資料・主題図の読みとり、統計資料の比較など)で見つける。
- 3 調べた結果をまとめて(白地図に整理、模式図、絵画、新聞など)、県全体の地域的特色をとらえる。
- 4 県の未来構想を考える。  
自分が考える福井県の未来  
自分が望む将来の福井県の姿 など

